農作物技術情報　第８号　畑作物

発行日　令和２年　１０月　２９日
発　行　岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編　集　岩手県農林水産部農業普及技術課　農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用 QR コード

「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「https://i-agri.net/Index/gate002」

◆　大豆　　**収穫時期を迎えています。茎水分がなかなか低下しない莢先熟の状況が見られますので、子実水分・茎水分の低下を見極め、速やかに収穫を行いましょう。**

◆　小麦　　**除草剤をまだ散布していない圃場は、小麦の生育や雑草の発生状況に応じて土壌処理剤を選択し、必ず散布しましょう。また、圃場条件が整ってから積極的に麦踏みを行い、凍上害や倒伏を回避しましょう。越冬後の融雪対策のため排水路の点検を行い、整備しておきましょう。**

大豆

大豆は収穫時期を迎えています。大型雑草や、青立ち株が見られる圃場では、収穫前の抜き取り作業が行われています。今年も子実水分だけが低下し、茎水分が低下しない莢先熟が発生している圃場もありますので、的確な収穫期の判断が必要です。

大豆は刈遅れるほど裂莢によるロスだけでなく、紫斑粒や腐敗粒等の被害粒の発生が多くなります。茎水分や子実水分を確認のうえ、適期刈取を目指しましょう。

１　収穫前の抜き取り

青立ち株や大型雑草などを収穫前までに圃場から撤去してください。青立ち株や大型雑草等は汚損粒の原因となるだけでなく、コンバインのカッター等で切断されずリール周辺で豆に接触して裂莢を増加させることがあります。また、**オペレーター等が刈取りに集中できず、大幅に作業効率が低下**します。

２　適期収穫

収穫適期に達した大豆は速やかに収穫してください。晴天等が続くと裂莢が急激に進むほか、子実水分が低下しすぎると乾燥調製時などに豆が割れやすくなります。また、収穫が遅れると紫斑粒やしわ粒、腐敗粒の発生も増加します。

収穫作業のポイント等は「農作物技術情報第７号畑作物」（令和２年９月 24 日発行）をご覧ください。

小麦

連作圃場を中心に小麦の播種作業が９月中旬から始まりましたが、今後播種を行う圃場では、播種適期を過ぎていますので、播種量を増やし、年内にできるだけ茎数を確保できるようにします。播種晩限から１週間遅れるごとに 10%播種量を増やし、目標株立数を確保できるよう努めましょう。

１　雑草防除（重要！）

小麦４葉期まで散布可能な土壌処理剤もあります。播種後に土壌処理剤を散布していない圃場では、除草剤の登録内容を確認し、**土壌処理剤を必ず散布**してください。どうしても土壌処理剤が散布できなかった場合には、越冬後、雑草が小さいうちに茎葉処理剤を散布してください。

２　麦踏み

表１にあるように、麦踏みは茎数の増加や倒伏防止などに大きな効果があります。近年雪が少ない年が続いていますが、積雪が少なく土壌の凍結が強い地帯や、土壌が軽い火山灰土などでは、麦踏みは特に有効です。積極的に麦踏みを行ってください。

ただし、圃場が乾いていることが実施の条件となりますので、排水不良の圃場や土壌水分が高い場合、あるいは砕土率が極端に低い場合は実施を避けます。

※麦踏みの実施方法・実施時期

・鎮圧ローラーやタイヤなどを用います。
・実施時期は、小麦４葉期～雪解け後の**茎立ち前まで。**
・回数は、越冬前・越冬後それぞれ 1 回以上を目標にします。暖冬年や播種が早い場合は回数を増やします。

表１　麦踏みの主な効果

項　目	内　容・理　由
茎数の増加	主稈や早期分げつを一時的に抑制する芯止め的な効果などによる。
倒伏の防止	節間伸長の抑制や草丈の短縮、稈基重の増大によるもの。
凍上害の防止	霜柱の発生による根の浮き上がり等による枯れ上がりを防ぐ。
耐寒性と耐干性の強化	麦踏みにより葉が傷つけられ、それ以降細胞溶液の濃度が高まる。
生育の均一化	主稈や早期分げつの生育が抑制される反面、弱小分げつの生育が促進され、全体として生育が揃う。

３　雪腐病の防除

県北部や高標高地帯など、根雪期間が長い地域では薬剤防除を行います。この場合、例年発生している雪腐病の種類に応じて薬剤を選定します。

ここでは県内で発生の多い雪腐褐色小粒菌核病と、紅色雪腐病について防除薬剤と防除時期について紹介します。（※令和２年 10 月 27 日農薬登録確認済み）

雪腐褐色小粒菌核病	防除薬剤	防除時期
 褐色で2～3mm程度の菌核を多数形成	トップジンM水和剤、バシタック水和剤75、オキシンドー水和剤80、キノンドー水和剤80等	**根雪直前** 散布後2週間以内に根雪にならなかった場合、あるいは散布後～根雪前までに30mm以上の雨が降った場合は再散布
	フロンサイドSC	**根雪前４週間程度前から散布可能** 散布後～根雪開始前の積算降水量が120mm以上、あるいは日最大降水量65mmを超える場合は再散布

紅色雪腐病	防除薬剤	防除時期
 望遠すると圃場が淡紅色に見える。菌核はない	トップジンM水和剤 ベフラン液剤25 オキシンドー水和剤80、 キノンドー水和剤80等	**根雪直前** 散布後2週間以内に根雪にならなかった場合、あるいは散布後～根雪前までに30㎜以上の雨が降った場合は再散布 ※ただし、ベフラン液剤25で種子消毒した場合には、紅色雪腐病 を対象とする根雪前の茎葉散布を省略できる。
	フロンサイドSC	**根雪前４週間程度前から散布可能** 散布後～根雪開始前の積算降水量が120㎜以上、あるいは日最大降水量65㎜を超える場合は再散布

雪腐病は連作圃場ほど発生が多い傾向が見られます。このため、耕種的防除として、常発地では輪作を取り入れる、融雪期には消雪を早め排水をはかる、融雪後の追肥を行う、などの対策を行います。

４　排水路の点検

明渠や排水路の点検整備を行って、滞水による湿害等を防いでください。

次号は11月26日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

９月15日～11月15日は 秋の農作業安全月間です	**慣れるほど　忘れてしまうその危険 心につけて若葉マーク**

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。